

真崎地区 自治会だより

No.22

発行 平成29年9月25日

編集 真崎地区自治会
(企画・総務部会)

電話 ☎283-4477

真崎コミュニティセンター
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp

ごあいさつ

真崎地区自治会 会長 大内 隆彦



今年の夏は、迷走台風5号の影響で西日本では局地的な大雨による被害や、北日本では日照不足の涼しい夏となりましたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。平成29年度の真崎地区自治会内の行事も皆様の協力で予定通り進んでいます。7月22日には原子力機構荒谷台区の夏祭りに約150名が参加され、盛大に開催されました。7月30日には原子力災害を想定した全村避難の広域避難訓練が実施され、基幹避難所の真崎コミセンに集合し、避難先を想定してバスを利用する避難訓練に124名が参加しました。全体の避難訓練の一部分ですが、今後も順次訓練に

参加して災害発生時の対応に備えたいと思います。8月12日には阿漕ヶ浦公園の花火大会が行われ、会場周辺の道路警備や、翌朝のゴミ拾いに地域の皆様が大勢ご協力くださり無事終了出来ました。8月26日には「真崎古墳行灯まつり」が開催され、約600名を超える方が参加されました。村松小学校児童の行灯絵作成やソーラン踊り、東海中学校生徒のボランティア参加、東海高校のジャズバンド演奏と記念すべき第10回目の祭りを盛り上げてくれました。それぞれの行事を通じて真崎地区住民の交流と親睦を図ることが出来ました。

地域の課題となっている自治会加入率アップについては、自治会への加入者はおられるものの、退会者が多いのが現状です。また、資源物ごみ分別回収量の増量については、ゴミゼロ運動と資源物の有効活用を目指して取り組んでいますが、回収量は年々減少傾向です。少子高齢化の要因も考えられますが、自治会活動の財源となる資源物回収にご協力をお願いいたします。これからは人工知能の飛躍的進化により、社会の加速度的変化が予想されますが、真崎地区自治会では、住み慣れた地域で生涯を通じ、安心してふれあいができ、もしもの時に助け合いができ、誰もが積極的に活動に参加でき、地域住民同士の交流、連携が図れる真崎地区を目指したいと思います。

第5回 防災訓練 ～10月28日(土)～

時間：午前10時～12時 場所：真崎コミュニティセンター（基幹避難所）、各集会所

対象：真崎地区自治会 役員及び専門部会員、単位自治会自主防災組織員及び班長

内容：初期消火訓練、火災時の煙体
験、発電機操作訓練、無線機
操作訓練、AED操作訓練、受
水訓練、電気自動車からの充
電操作訓練、起震車体験
など

各自がその場で実践！ ～シェイクアウト訓練～

午前8時の花火で
『安全行動』開始！
1分間姿勢を維持
したら終了！



●	●	目次	●	●
・	会長挨拶／防災訓練について	1	・	真崎地区社会福祉協議会
・	真崎地区内のお祭り	2	・	青少年育成東海村民会議村松支部
・	運営委員会及び各専門部会の活動報告	3	・	村政懇談会報告／行灯展示
				4～5
				6～7
				8

荒谷台 夏祭り

7月22日（土）、村長、真崎地区正副自治会長など、多くの来賓の方々にご参加いただき、荒谷台夏祭りを開催しました。子供みこしや子供会主催の催し、焼きそば、焼き鳥などの出店、特別企画として今年も「真崎コミセンの朝市」を行っていただき、お祭りが盛り上がりました。近隣の子供たちの来場もあって、多くの参加者で賑わいました。最後は、恒例の花火を行い、お祭りを無事に終了することができました。ご協力、ご来場いただいた多くの皆様にご場をお借りして、お礼申し上げます。この祭りが、参加された皆さんの活力となり、また子供達のよい思い出となれば幸いです。



『第10回真崎古墳行灯まつり』 盛大に開催

前日までの天候への心配が杞憂に終わり、晴天の中で第10回のまつりが盛大に開催されました。今年は東海高校のジャズバンド部をお招きし、ソーラン踊りの村松小学校の児童、ボランティア活動の東海中学校の生徒とで、小中高が揃うという記念すべき回にふさわしい内容となりました。また、古墳内では、行灯を50基増設し、180基を従来より広い範囲に飾りました。区内の児童と関係団体の方々により絵付けされた行灯が今年も皆さんの心を魅了したものと思います。



地区自治会及び各専門部会の活動報告

地区自治会役員会及び運営委員会

水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち

毎月定例役員会を開催し、各種行事の検討、村政懇談会の運営や防災訓練の骨子についての計画・実施の協議を行っています。

3つの単位自治会が力と知恵を出し合い、私たちの地域がよりよい場所になるような活動が展開できるよう協議を進めていきます。



運営委員会の様子



昨年の防災訓練の様子



建設・環境部会

花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり

真崎地区内7ブロック（10ヶ所）の花壇に春と秋の「花いっぱい運動」活動として、季節の花々を植栽しています。植栽には、子供会の子供たちからお年寄りまでが参加し、地域の多くの有志団体の方々と一緒に花壇を作っています。これからも季節を感じることができるやさしい環境づくりにご協力ください。



子ども会による花壇の植栽



朝市の様子

農・工・商部会

地域連携による豊かな生活ができるまちづくり

第3水曜日（地区社協ふれあい食事会開催日）8時半頃から真崎コミセン、舟石川三区集会所で、真崎地区内で作られた野菜の販売を行っております。また、地区内の各イベントにも参加しております。新鮮なものを安く販売しておりますので、どうぞご利用ください。

【野菜を販売しませんか】

野菜の販売を一緒に行ってください方を募集しています。

- ・野菜を栽培されている方
- ・真崎地区に居住している方

ご興味のある方は、真崎地区自治会事務局までご連絡ください。

企画・総務部会

地域を愛し、人がつながるまちづくり



部会の様子

真崎地区自治会だよりNo.21を平成29年6月に発行しました。真崎地区自治会だよりには、地域の出来事を多く掲載していきたいと考えていますので、皆さんの身近な情報をお寄せください。また、企画・総務部会で一緒に活動いただける方を随時募集しています。ご興味のある方は、真崎地区自治会事務局（283-4477橋本、檜山）までご連絡ください。お待ちしております。

福祉部会

真崎地区社会福祉協議会

平成29年度定期総会

H29.4.23

4月23日(日)真崎コミュニティセンターにおいて真崎地区社会福祉協議会定期総会が開催されました。平成28年度の事業報告及び決算報告、平成29年度の事業計画及び収支予算・会長及び副会長選任について審議し、原案通り承認されました。

【平成29年度役員】

- 会長 床嶋純孝
- 副会長 加藤孝幸、村山洋二
- 幹事 柏原文夫、中瀬恒雄、高野久行、大内克高橋厚子、森澤京子、白石保、松江礼子



ふれあい食事会

毎月第3水曜日

毎月第3水曜日(8、12月を除く)に、高齢者が参加しやすいよう真崎コミセンと舟石川三区集会所の2会場で同時に食事会を行っています。

ボランティアの方々による紙芝居やリハビリ体操・マジックショー等で交流を深め、また、講師の先生をお招きした健康教室や出前講座を利用した勉強会等も行っています。

両会場とも心を込めて調理した昼食を、歓談しながらみんなでいただき、楽しいひと時を過ごしています。また、誕生日を迎える方には、ささやかですがプレゼントをご用意しています。



真崎コミセンでの食事会の一コマ



舟石川三区での食事会の一コマ

地区社協体育の日

土曜日9時～12時

毎月1回真崎コミセンの多目的ホールで、「地区社協体育の日」を行っています。

事前申し込みは不要で、当日集まった参加者が、健康維持につながるスポーツを楽しみながら、互いの交流を深めています。

開催日程は、コミセン玄関に掲示している予定表に記載しています。初心者でも楽しめますので、ぜひご参加ください。



バンボンや卓球・バドミントンで、わきあいあい交流

第1回健康ウォーキング

H29.6.23

6月23日(金)、地区社協保健部会による第1回健康ウォーキングを開催しました。

24名が参加し、真崎コミセンから東海十二景の白方公園(白方溜蜚影)と豊受皇大神宮を巡り、白方コミセンを見学して真崎コミセンに戻る約3.8kmのコースをウォーキング。コース途中でのクイズでリフレッシュしながら、最後まで楽しく歩きました。



クイズをあてて景品ゲット



白方公園で記念撮影

ふれあいリフレッシュ研修

H29.7.6

7月6日(木)、日頃の活動のリフレッシュと懇親を目的に、大型バス2台を利用して、70名が埼玉県川越市「小江戸川越蔵の街」を訪れました。

開通したばかりの圏央道を利用し、午前中は喜多院を参拝し、538体ひとつとして同じ顔・ポーズのものが無いという五百羅漢を見学。午後は川越の街並みの自由散策を楽しみました。



喜多院の五百羅漢



小江戸川越の街並みを散策

ふれあい協力員研修会(調理担当者研修)

H29.8.4

8月4日(金)、管理栄養士の先生をお招きして調理研修を開催し、30名が参加しました。「食中毒の予防は噛むことから」についての講話の後、調理実習では「かじきまぐろのソテー〜クリーミーカレーソース〜」等の減塩メニューに挑戦。手際よく調理し、素晴らしい出来栄でした。食事会での提供メニューの参考になります。



講話の様子



もうすぐ完成

**地区社協の行事にスタッフとして参加してみませんか！
できることを、できる時に結構です。ご協力宜しくお願い致します。**

問合せは、真崎地区社会福祉協議会事務局(真崎コミセン内)まで
TEL 283-4477

教育 部会 青少年育成東海村民会議村松支部

平成29年度定期総会

5月24日(水)、真崎コミュニティセンターにおいて、定期総会が開催されました。平成28年度の事業報告と決算報告、平成29年度の事業計画と予算案について審議し、すべて承認されました。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

平成29年度役員

- 【支部長】 甲斐哲也 【副支部長】 池内敬、加藤孝幸、村山洋二
- 【家庭地域委員会】 (委員長) 金子耕士、(副委員長) 小沼あゆみ
- 【青少年委員会】 (委員長) 飯田由美子、(副委員長) 藤田律子
- 【総務委員会】 (委員長) 加納里美、(副委員長) 園部裕美子

クリーン作戦

6月17日(土)、クリーン作戦を実施しました。朝早くからたくさんの小学生や幼児、およびその保護者が参加して、通学路や周辺道路のごみ拾いを行い、3ヶ所の集積所に集めました。参加者総数は約260名でした。参加された皆さん、スタッフの方々、それに休日にも関わらず集まって下さった村松小学校の先生の皆さん、どうもありがとうございました。これからも、ごみのないきれいな街にしていきたいと思います。



ソフトドッチボール大会

6月24日(土)に第36回村松学区子ども会対抗ソフトドッチボール大会が行われました。みんな暑い中、練習をしてきた成果が出せたと思います。荒谷台と睦子供会対抗の低学年の試合や親子試合など、1日楽しむことができました。大会の結果は睦子供会の優勝でしたが、どちらの子供会も楽しむことができ、親子共々良い笑顔がたくさん見られて、とても良かったと思います。普段学校では見られないお友達活躍や体験できないことも、ソフトドッチボールでは学べたと思います。ご多忙の中、協力して頂きましたみなさま、本当にありがとうございました。子供たちもまた、1つ思い出が増えたことと思います。これからも、子供会へのご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。



※本大会は、子ども会育成会が主催で、教育部会・村民会議村松支部の後援事業となっています。



エンジョイ・サマースクール「あいさつ運動ポスターの制作」

エンジョイ・サマースクール「あいさつ運動ポスターの制作」を8月9日(水)に行い、約30名の村松小の子供達が参加しました。9月以降に、完成した作品をあいさつ運動のポスターとして加工し、地区内の各所に設置します。どのような作品ができるのか楽しみです。



エンジョイ・サマースクール「ペットボトルロケットを作って飛ばそう!」

エンジョイ・サマースクール「ペットボトルロケットを作って飛ばそう!」を8月19日(土)に行い、約100名の村松小の子供達が参加しました。体育館で2時間ほどかけてロケットをつくり、校庭で水を入れた後、自転車の空気入れを使って圧縮された空気を入れて飛ばしました。発射スイッチを押した瞬間に、勢いよく水を吹き出しながら飛び出すロケットに歓声が上がりました。豪雨により途中で中断したため、翌日にもロケットを飛ばしました。



今後の事業予定

- 10月8日(日) つり大会(場所:中央排水路)
- 12月16日(土) しめ飾り作り・餅つき大会(場所:真崎コミセン)

青少年育成東海村民会議村松支部の事業に日頃からご協力いただきましてありがとうございます。村松支部は、自治会員(教育部会員)、PTA役員、学校教員で構成され、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。この事業は、地区内の皆様の一世帯300円の会費などを基に運営されております。

6月30日 平成29年度村政懇談会（真崎地区）が行われました

真崎地区として事前質問した2つの内容についてご紹介します。(真崎地区自治会 会長 大内隆彦)

① 小学校区と自治会区域の整合性依頼について

通学区域制度は学校教育法施行令に基づき通学区域を設定しているのので、通学区域を自治会区域と併せるために変更することは難しいが、道路や区画整理などのインフラ整備が進み、児童、生徒の通学環境に変化がみられることや、学校間の在籍数にばらつきがみられることなどから、今後の児童生徒数の状況を勘案しながら、子どもたちのことを第一に考え、通学区域の編制について検証する必要があると考えています。



126名の方が参加されました

② 地区自治会の事務局のあり方について

事務局の仕事を単純に仕事量とかで捉えるのではなく、コミセンにわかっている人がいることでみなさんの活動がやりやすい、ということの配慮がなかったことは反省している。来年以降どうするかは、もう一度コミセンのあり方をどうするかまできちんと考え、今までの体制がいいのか、よく実情を考え、皆さんの活動に支障のないようにしたい。



多くの質問、意見が出されました

コミセン内に行灯を飾っています



「真崎古墳行灯まつり」で古墳内の遊歩道を淡い光で照らし、日暮れとともに幽玄の世界にいざなった行灯が真崎コミセン東側通路の天井に飾ってあります。今年から、村松小学校児童、自治会関連団体のほか、東海中学校の生徒も絵付けに参加しました。それぞれの絵が、個性あふれる色彩で表現されています。第10回にして始めて小、中、高の若者がそろって祭りに参加した記念すべきお祭りとなりました。

祭りの中心となった行灯は、祭り終了とともに中学生の手により、再びコミセンに移設され、地区社協が主催する世代間交流会まで展示されます。暗がりで見つからなかったあなたのお子さんの行灯をもう一度探してみませんか。きっと新たな発見がありますよ。

【編集後記】

荒谷台夏祭りや真崎古墳行灯まつりなど、地域の夏の催し物をご紹介させていただきました。この夏は、突然のゲリラ豪雨や雷に驚かされましたね。そして、9月は竜巻が最も発生しやすいときだそうです。いつ来るか想定できない自然現象への地域の備えとしても、地域の催し物を通して自然と高めていくのが良いのかなと感じています。一方で、意識して防災を考えることも大切ですね。10月28日には真崎地区で防災訓練を行います。地域の防災の力を高める機会としていただければありがたいです。【H.M.】

*このたよりは、村の地域づくり推進事業、地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。